

## スパッツ鋼板敷方例

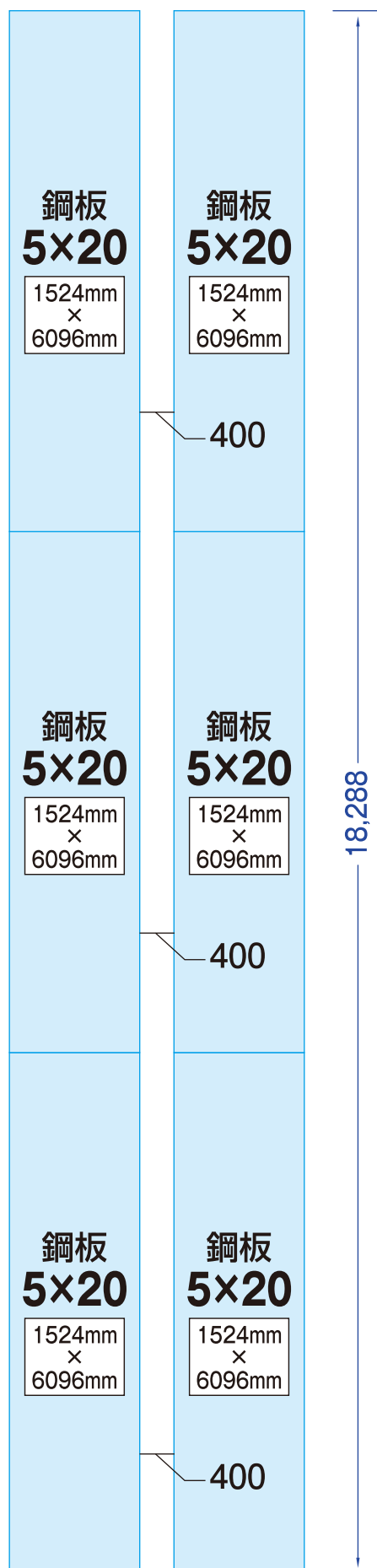
### 鋼板

### 5×20を6枚使用

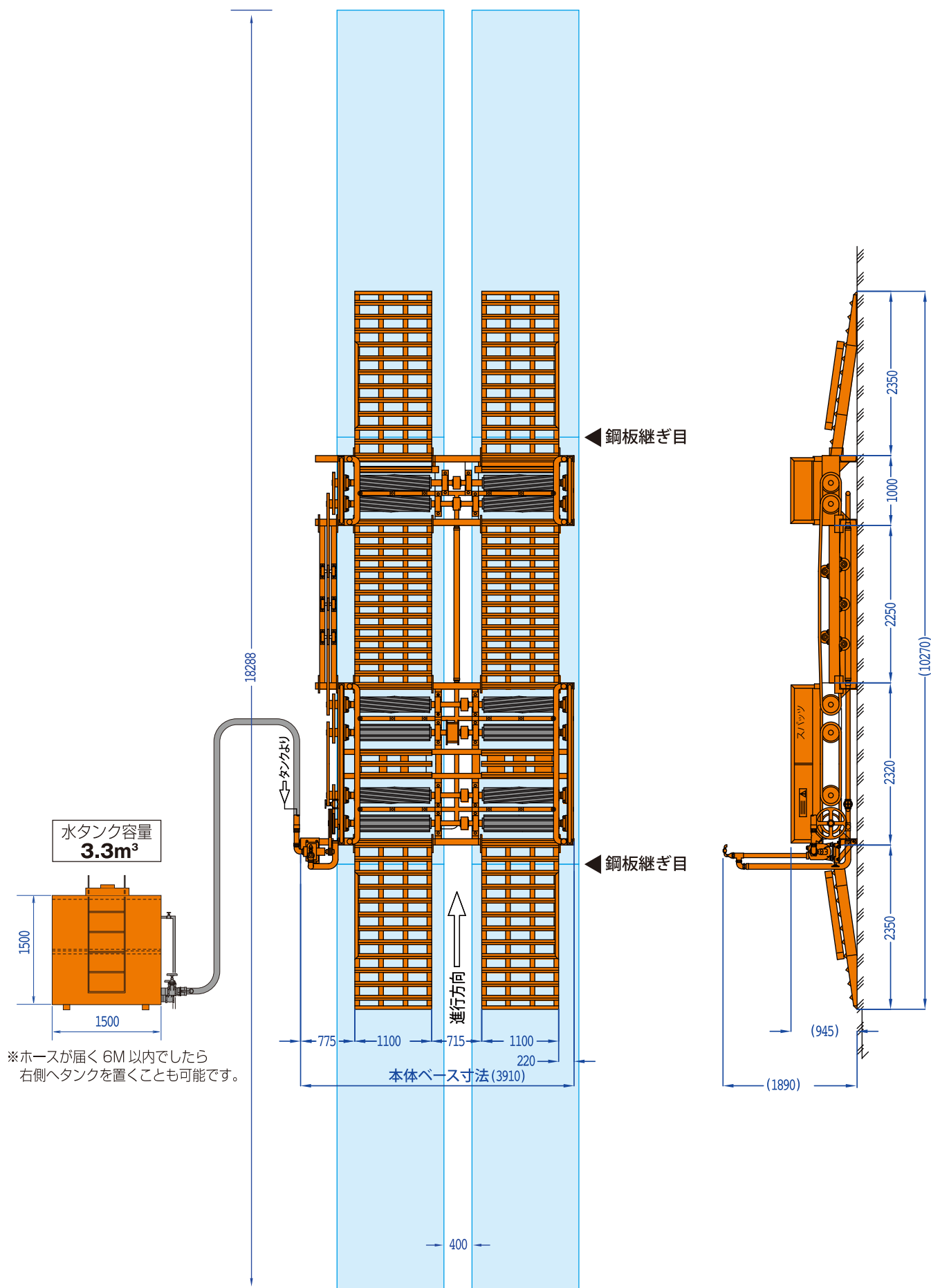
鋼板を敷く前に整地碎石にてしっかりと水平に固めてください。

**軟弱地盤の上では、本体を大きく振動させ故障の原因となります。**

特に湿式の場合、鋼板の上下の動きにより鋼板の下の土が流れてしまう原因となります。



# XNI-FCIW 設置イメージ



## FCIW-設置イメージ

# 設置の条件

## 使用禁止事項

- 1 スパッツを逆行で通過することは避けてください。  
機械が破損する恐れがあります。

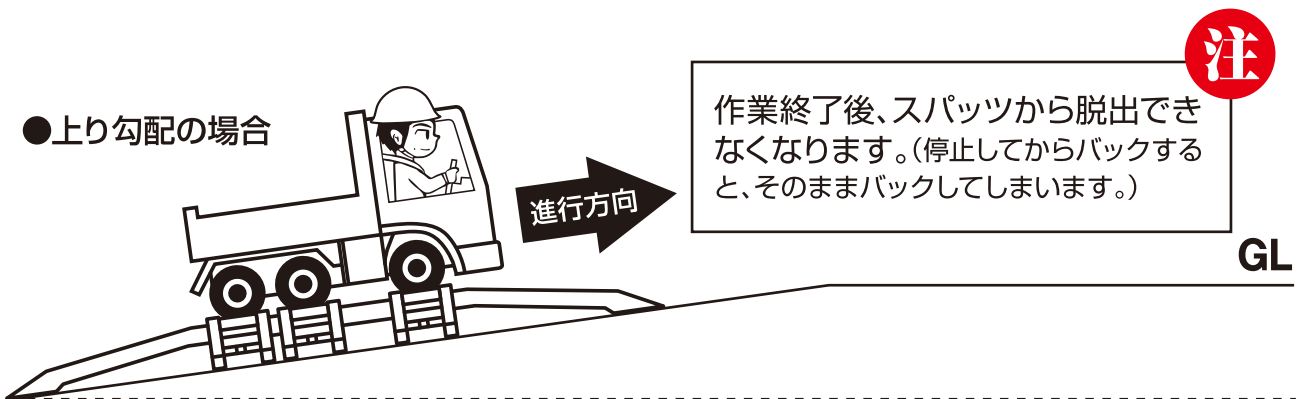


- 2 下り勾配・上り勾配の場所に設置することは避けてください。

### ●下り勾配の場合

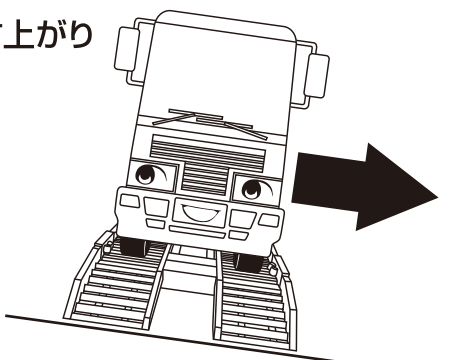


### ●上り勾配の場合

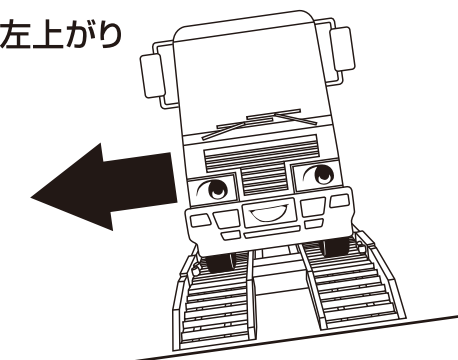


- 3 左傾斜・右傾斜にも設置することは危険なので避けてください。  
使用中、左右どちらかに寄ってきます。

### ●右上がり



### ●左上がり

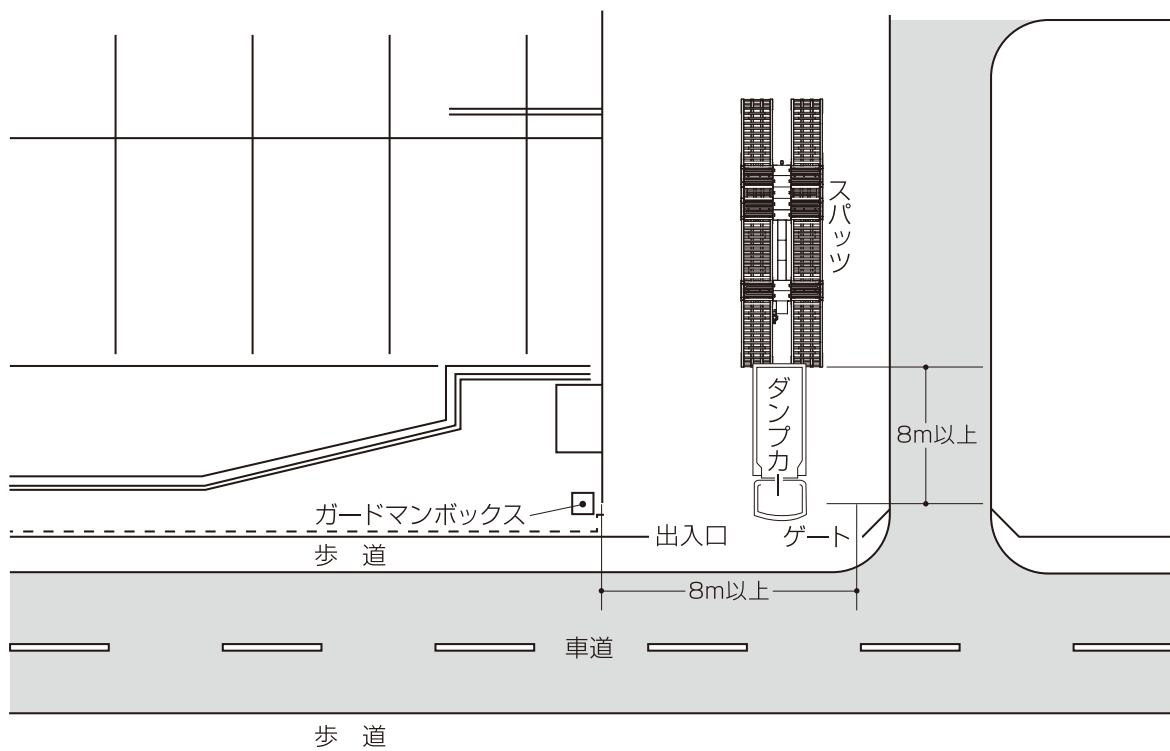


# 設置の条件

## 現場での具体例

### ●安全に「スパッツ」を設置するためには

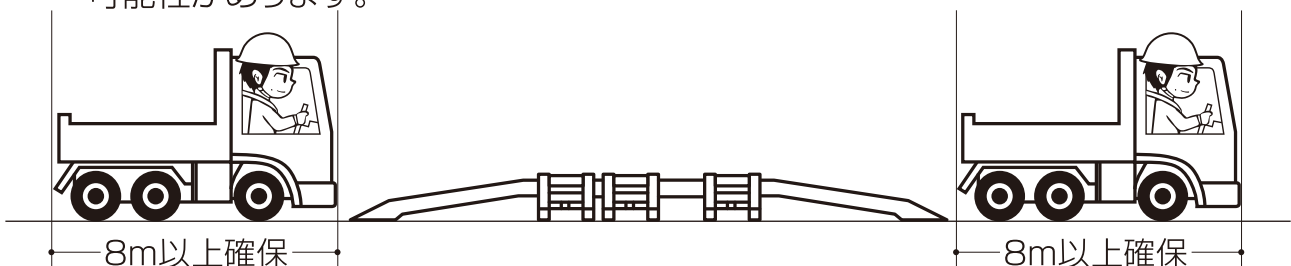
「スパッツ」を設置する位置は、必ず図のように設置くださいますようお願いいたします。出口ギリギリに設置した場合、スパッツから降りた時、ダンプカーは車道か歩道に出てしまい、通行中の車両・通行人の妨げになる恐れがあります。出口側にはダンプカー1台分のスペースが確保できるように設置をお願いいたします。



### ●スパッツ設置時の前後のスペース

- ① スパッツに乗る前、スパッツに対しダンプカー本体が平行になるように。
- ② スパッツから降りきるまでハンドルは切らない。

※途中でハンドルを切ると脱輪・スロープ破損・ダンプの損傷等の問題が起こる可能性があります。



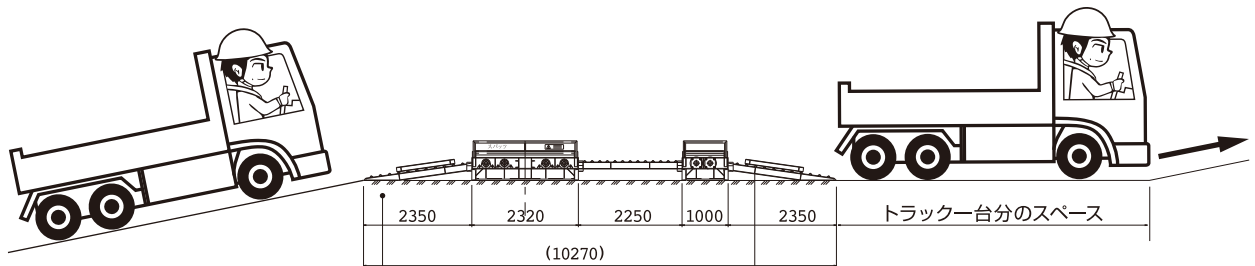
# 設置の条件

## 勾配のある場所の場合

### ● XNI-FCI・FCIW型を使用した場合

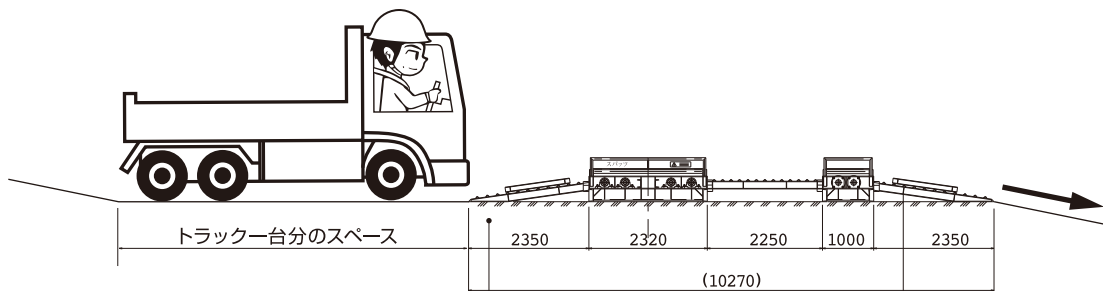
勾配のある場所で設置する場合は、下図のように設置してください。  
そのままの状態を設置すると事故になる恐れがありますので設置しないでください。

#### 上り坂



入口側のスロープは、スロープを半分ぐらいまでは砕石等で埋めてもかまいません。

#### 下り坂



入口側のスロープは、スロープを半分ぐらいまでは砕石等で埋めてもかまいません。

# 設置の条件

## スパッツ納入前のお願い

### ① 搬入路の確認をお願いいたします。

大型車にて搬入となりますので、10日前までに必ず地図をお願いいたします。その際、納入時間・待機場所・先方の担当者様の連絡先の明記もお願いいたします。(前日積み込み、朝納入を基本としております。ご協力をお願いいたします。) **進入規制等については特にご注意いただき、ご確認願います。**

### ② 前日までに鋼板の敷き込みをお願いいたします。

整地し、砕石で地盤を固めた上に鋼板を敷いて下さい。特に湿式の場合は水で鋼板の下の土が流されやすく、不安定になる場合があります、スパッツの故障の原因になります。

### ③ 朝礼・入場規制の有無とその集合時間の連絡をお願いいたします。

ちょっとした連絡不行き届きで現場の皆様にご迷惑をおかけする場合がありますので、事前に現場のルールをご連絡をお願いいたします。

# スパッツを安全にご使用いただくために

## 長くご使用いただくためのお願い

1

スパッツは、国産ダンプカーに耐用出来るように制作されておりますので、**法定重量を超えた過積載での使用は、絶対にしないでください。**※過積載での不具合等は有償修理となります。

2

スパッツの処理能力については、各部品との兼ね合いもあり、**1日約250台**としております。これ以上の台数を処理する場合は、もう1台必要です。

3

スパッツを停止させる時は、**フットブレーキを踏まないでください。(アクセルペダルを徐々に放してください。)**

4

タイヤの溝が極端に減った状態で使用しないでください。

5

スパッツの下に溜まった泥土は、こまめに清掃をお願いいたします。(ピロブロックに泥、砂が入りますと故障の原因になります。)

6

スパッツの設置場所は、必ず**レベル状態**をお願いいたします。

7

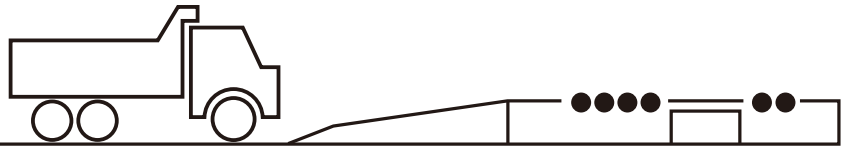
危険ですので使用中は後方10m以上、前・左右3m以上必ず離れてください。特に後方は石が飛ぶ危険があります。

※

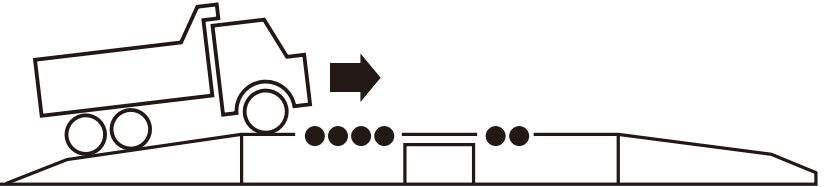
スパッツをご使用いただく場合は、上記の安全管理基準を借り主様の責任でお願いいたします。無理な使用は、故障の原因になりますので、遵守のほどよろしくお願いいたします。尚、安全管理基準を遵守されずにご使用になられた場合の故障は、有償となります。予めご了承ください。

# ダンプカー用泥落装置スパッツの使用手順

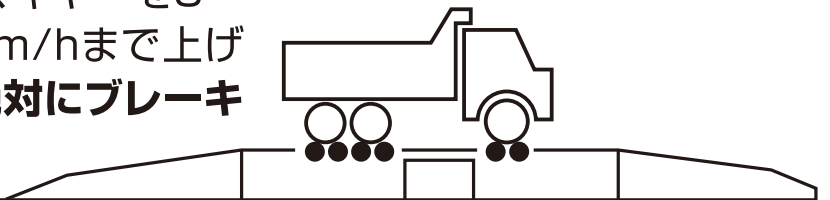
1 装置の前で必ず一旦停止。



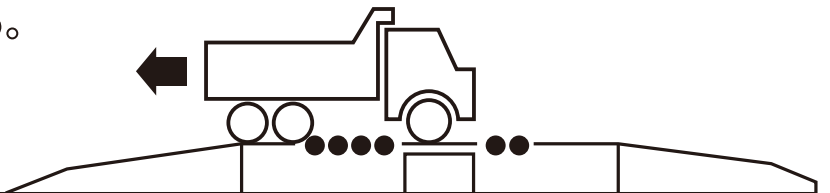
2 進入方向に従って、まっすぐゆっくりと乗る。



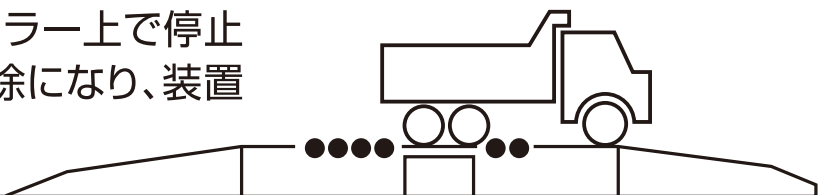
3 ハンドルは、しっかりと保持し、ギヤーを3～4速に入れ、スピードを30km/hまで上げ5～10秒ほど空転させる。**絶対にブレーキは踏まず**自然停止を待つ。



4 30～50cmぐらいバックする。



5 止まらずに徐行で前へ。(ローラー上で停止するとクラッチのロックが解除になり、装置から降りられなくなります)



6 装置から降りれば、作業完了です。



## 所要時間 約30秒程度



## 監督さんへお願い

### ダンプカー用泥落装置スパッツ使用上のお願い

平素は、弊社泥落装置スパッツを御利用戴きまして誠にありがとうございます。  
最近、スパッツの間違った使用が原因と思われる故障が多く見受けられます。  
故障による工事の中断は工程に多大な影響を与えると同時に事故につながる  
危険性が伴いますので、運転手さん用に別紙「スパッツ使用上の注意」を製作  
致しましたので配付を、お願い申し上げます。

又、すでに御承知の事とは存じますが「スパッツ使用上のお願い」をお届け致し  
ますので再度、作業員方々への御徹底をお願い申し上げます。

#### 井上鋼材株式会社

機材部横浜 TEL.045(521)2141

機材部東北 TEL.0248(72)7192

機材部関西 TEL.06(6535)9320

機材部九州 TEL.092(963)5781

### スパッツ使用上のお願い

- 1** ローラーを回した後、絶対にブレーキを踏んでタイヤを止めないでください。  
必ず自然停止をお願い致します。  
ローラーが折れる原因となります。
- 2** 1日の処理台数は延べ250台を目安としております。これ以上の台数を処理する場合は、2台目の設置をお願い致します。
- 3** 過積載は故障の大きな原因となりますので御注意願います。  
※過積載での不具合等は有償修理となります。
- 4** ローラーの下の泥は、こまめに取り除いてください。

# 運転手さんへお願い

## ダンプカー用泥落装置スパッツ使用上のお願い

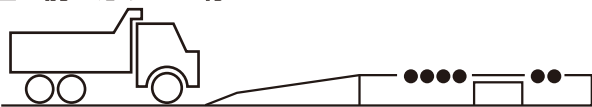
ダンプカー用泥落装置スパッツを御利用戴きましてありがとうございます。最近スパッツの間違った使用が原因と思われる故障が多く見受けられます。故障による工事の中断は行程に多大な影響を与えてしまいますので、再度「スパッツ使用上の注意」を配布申し上げますので、御一読の上「安全作業」の一助にお役立て下さいますよう、お願い申し上げます。

### ⚠️ 使用上の注意事項

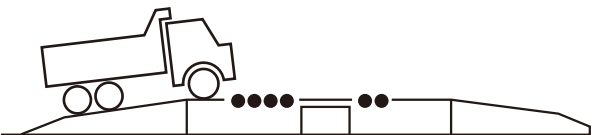
- 1 脱泥作業中にハンドル操作をすると、その方向に移動しますのでおやめください。
- 2 極端なハンドル操作や高速でのハンドル操作、急ブレーキは事故につながり大変危険です。
- 3 車体がスパッツの中央に乗っていない時は低速で脱泥作業をしながらハンドルを少し操作しますと中央に移動できます。
- 4 スピードが遅いと車体が左右に移動しますのでスピードを一定速度迄上げてください。
- 5 ローラーを回した後、絶対にブレーキを踏んでタイヤを止めないでください。必ず自然停止をお願い致します。
- 6 スパッツから脱出する場合は、完全にローラーが停止してから、ゆっくりバックして前進でスパッツから降りてください。

## ダンプカー用泥落装置スパッツの使用手順

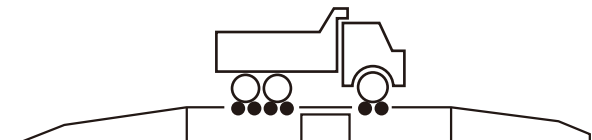
1 装置の前で必ず一旦停止。



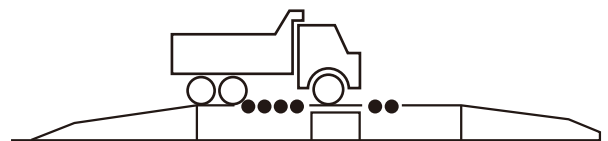
2 進入方向に従って、まっすぐゆっくりと乗る。



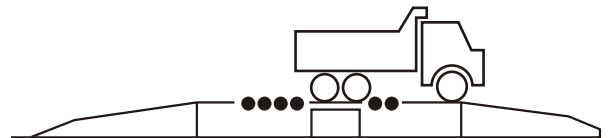
3 ハンドルは、しっかりと保持し、ギヤーを3~4速に入れ、スピードを30km/hまで上げ5~10秒ほど空転させる。絶対にブレーキは踏まず自然停止を待つ。



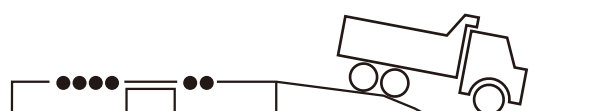
4 30~50cmぐらいバックする。



5 止まらずに徐行で前へ。(ローラー上で停止するとクラッチのロックが解除になり、装置から降りられなくなります)



6 装置から降りれば、作業完了です。



1 → 2 → 3 → 4 → 5 → 6 所要時間 約30秒程度

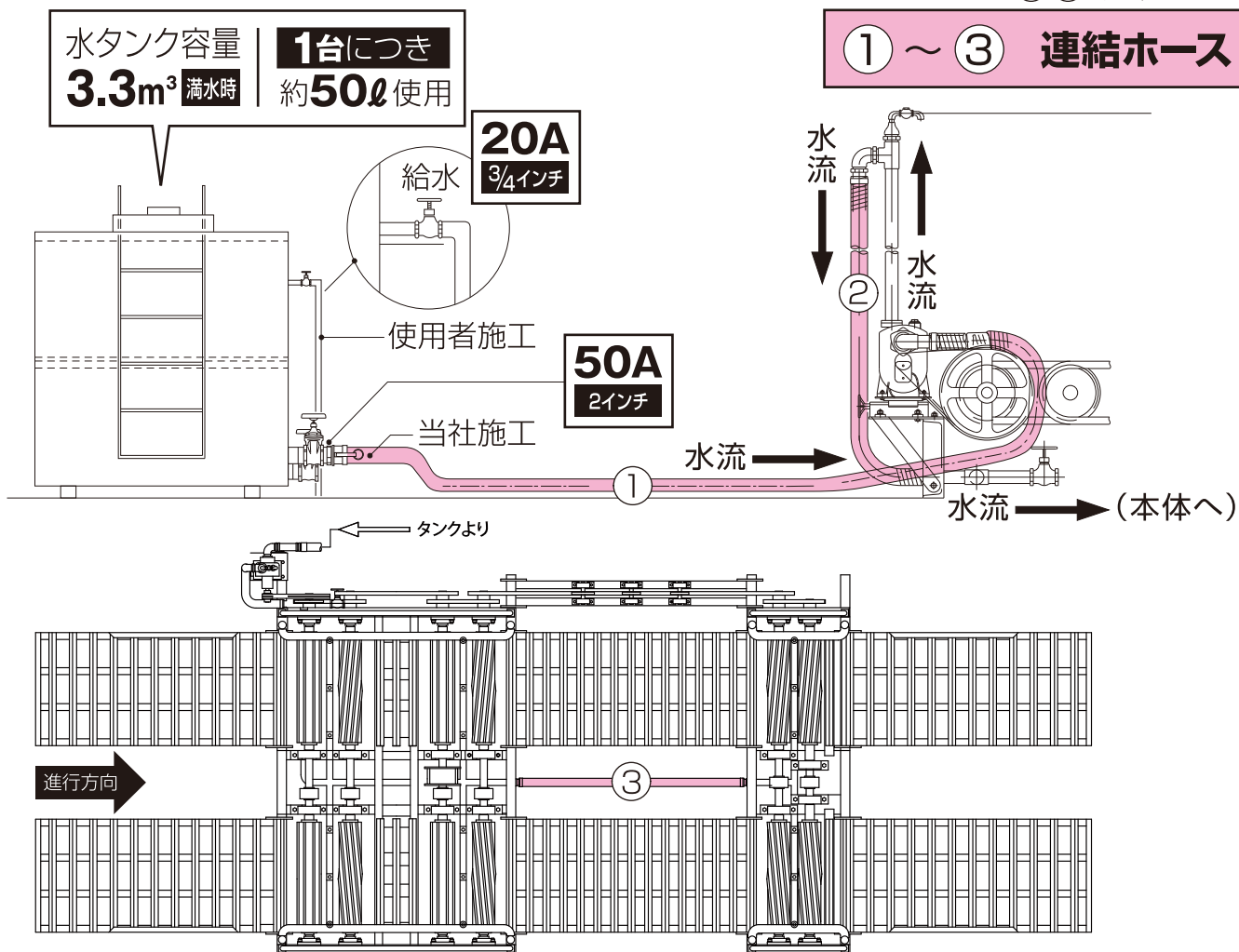
# 湿式型設置の条件

## 水タンク設置について

- ① タンクから本体ポンプまでは当社にて施工いたします。
- ② 本体ポンプより6m以内に設置してください。6m以上の場合は事前にご連絡をお願いいたします。
- ③ スパッツ本体と同じ高さにタンクを設置してください。
- ④ 水道水にて給水をする場合は、使用者様でホースを直結してください。
- ⑤ 給水車にて給水をする場合は、**1日の台数で給水回数**を決めてください。満タンで**50~60台**程度使用できます。

※DCWは①②のみ

① ~ ③ 連結ホース



# 湿式型設置の条件

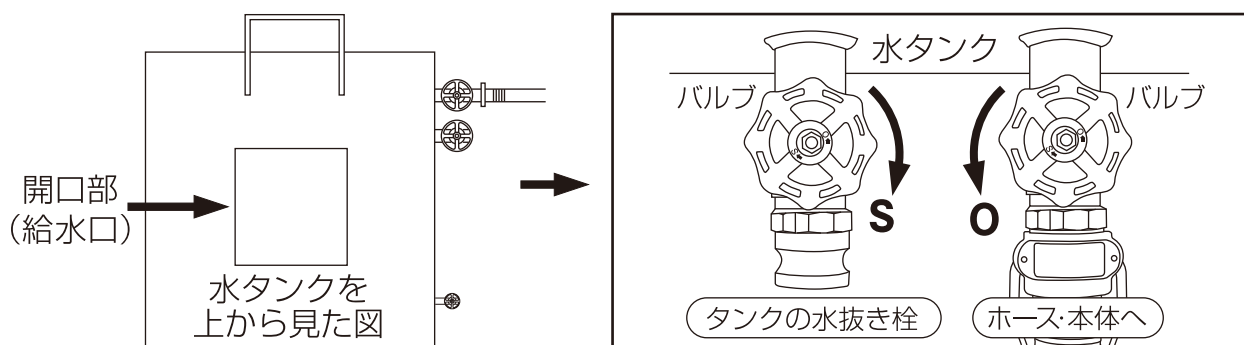
## ご使用の前に〈湿式〉

### ● 取り付け後の水が噴出するまでの手順

- ① 水タンクに水を入れてください。(満水にしてください。)
- ② 各ホースを接続してください。場所については**W-1**ページイラストをご覧ください。下記の番号にて図示してあります。

- ① 水タンクの給水バルブとポンプをジョイントしてください。
- ② 立ち上がり部に付いているエルボと本体カプラをジョイントしてください。
- ③ 前・後輪を中央部でジョイントしてください。

- ③ 水タンクにホースをつないでいるバルブを開き、水を本体へ流し込む。



- ④ スパッツの上にダンプカーを乗せ、乾式と同じように、ローラーを回転させてください。
- ⑤ ローラーを回転させてノズルから**水が出るまで時間がかかります。**  
**水が出るまで回転させ続けてください。(30km以上)**
- ⑥ 水が噴出すれば完了です。2台目からは通常使用できます。

# スパッツを安全にご使用いただくために

## ご使用の前に〈湿式〉

### ● 作業開始前点検(日常点検)の実施

作業開始前点検(日常点検)は、その日1日の作業を安全に行う為に実施する点検です。スパッツ装置を使用する時は、必ず後述の作業開始前点検を実施してから運転をしてください。

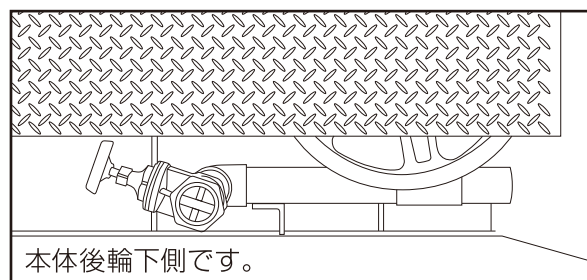
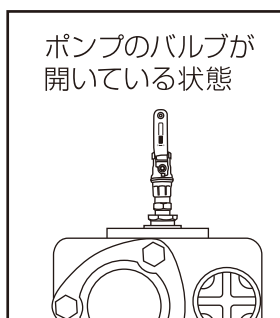
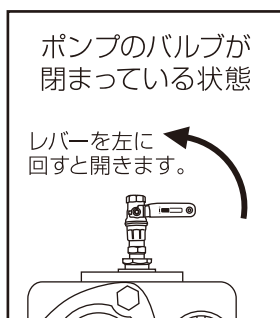
よろしくお願いいたします。

### ● 運転を始める前に

①水タンクのバルブを開けてください。

②ポンプの水抜きバルブを締めてください。

③本体の水抜きバルブが閉めてあるか確認してください。(配管下側で見えにくい場所です。)

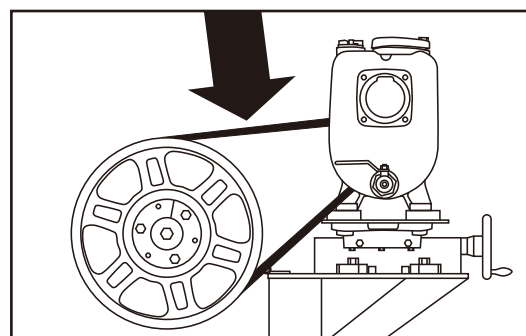


④タンクの水量を確認してください。タンクの水量が少ない場合は、補給してください。(ボールタップ仕様では必要ありません。)

⑦ベルトがたるんでいないか確認してください。

⑤給水バルブが開いているか確認してください。

⑥スパッツの上に物がのっていないか確認してください。



※ローラー上は滑りますので、足元に充分注意してください。

### ● 泥土排出について

①排水した泥水は、現場サイドで処理をお願いします。

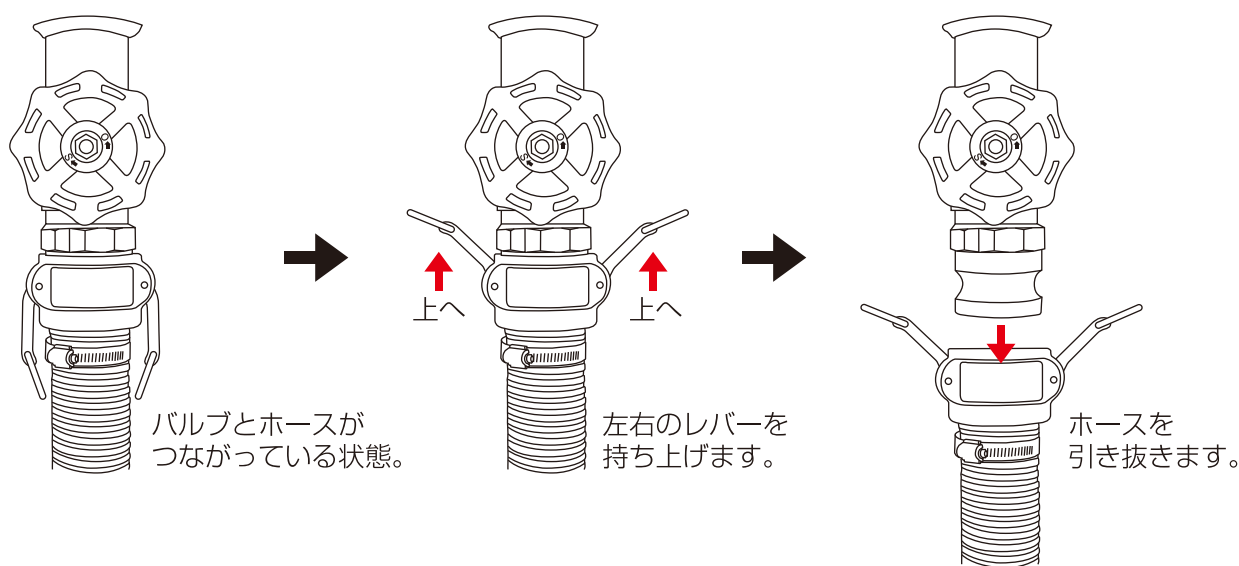
# スパッツを安全にご使用いただくために

## 冬期使用する場合の諸注意<湿式> ①

凍結防止のため、水装置のポンプ、ホース、開閉弁から残っている水を抜いてください。(特に降雪地帯、寒冷地、降霜地は毎日作業終了後に行ってください。)

### ● 凍結防止のための水抜き方法

- ① タンクの給水バルブを閉めてください。
- ② 本体下部の水抜きバルブを開けてください。
- ③ ポンプの水抜きバルブを開けてください。
- ④ つないでいるホースを全て外してください。



### ● 凍結時の注意

ホース、配管が凍結しているかどうか確認してください。凍っている場合は、自然に溶けるまで待ってください。(火は使用しないでください。変形してしまいます。)

# スパッツを安全にご使用いただくために

## 冬期使用する場合の諸注意〈湿式〉②

### ● 再度使用するとき(復旧させるとき)

- ①ホースを全てつないでください。
- ②正常に戻すため、本体の下の水抜きバルブを閉めて、水タンクの中に水があるかどうかを確認してから、水タンクのバルブを開けてください。
- ③ポンプの水抜きバルブを閉めてください。
- ④③まで終わらせたら、ダンプカーを乗せ、**ノズルから水が出るまでローラーを回転させ続けてください**。水が噴出すれば通常使用できます。

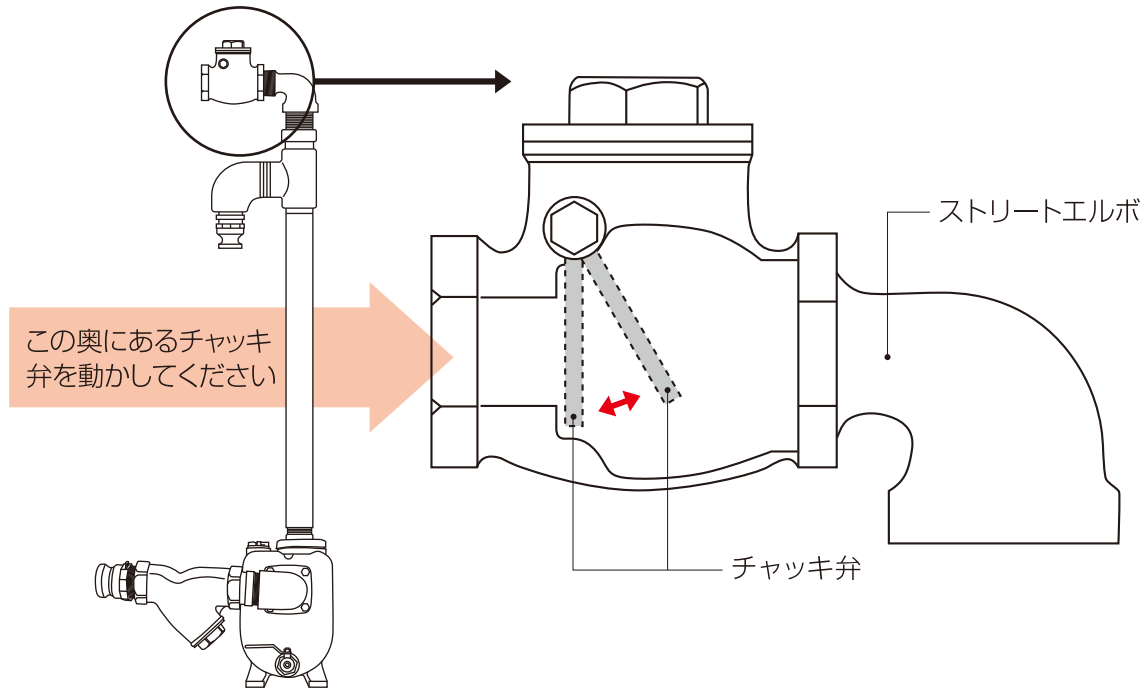
※凍結防止対策資料もご参照ください



# スパッツを安全にご使用いただくために

## 水が止まらない時、または出ない時の対処方法

水が止まらない時、または出ない時は、チャッキ弁を何度か軽く動かして、弁が動くか確認してください。



## Y形ストレーナのメンテナンス

清掃する時は必ず水を出し切り、水タンクバルブを閉めてください。ポンプを取り付けた状態で清掃できます。

